

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第29総会期主題
平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

日本YWCAビジョン2015

- (1) 非核・非暴力による平和を構築する
 - ・平和憲法をまもり、世界に広める
 - ・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
 - ・女性と子どもの権利をまもり
 - ・パレスチナYWCAの活動を支援する
- (2) 若い女性のリーダーシップを養成する

YWCA1・2

JAN/FEB. 2010

発行所 日本YWCA
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8
Tel. 03-3264-0661
【四谷オフィス】
〒160-0008 新宿区三栄町6-12 2F
Tel. 03-5367-1872/FAX 03-5367-1873
E-mail: office-japan@ywca.or.jp
編集発行人 俣野尚子
振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)
定価1部 150円
年間購読料2,200円(送料込)

www.ywca.or.jp



第30総会期にバトンをわたして 希望と共に

日本YWCA第29総会期会長 石井摩耶子

新会長メッセージ

ぶどうの木につながって
豊かに実を結ぼう

第30総会期会長 俣野尚子



2011年世界YWCA総会テーマでもある、「Women Creating a Safe World—女性が創り出す平和な世界」をキャッチフレーズとし、第30回全国会員総会を開催しました。

YWCAは、日本全国で、世界YWCAとの連携の中で、世界各地の女性たちと共に活動しています。そのつながりは、ちょうどぶどうの木のようなものだと思います。ぶどうは、小さな粒が集まって一つの房になる。26の地域YWCA・35の中高YWCA・地域YWCAにより設立された準加盟団体が集まって日本YWCAであり、また世界各地にたくさんの房がある。またぶどうは、棚をつくって栽培します。どの房も同じ高さで、横に連なる。縦の関係ではありません。

私たちは、「女性が創り出す平和な世界」というテーマのごとく、暴力のない、命を大切にしたい世界を目指し、人と人、国と国、大人と子ども、女性と男性、さまざまな社会を構成しているところにおいて、満をうめ、力を失っている者と共に生きる社会を目指して活動しています。

YWCAの活動の根は何でしょうか。聖書はいいいます。「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」(ヨハネによる福音書15章5節)。私たちの活動は、イエス・キリストの存在によって実を結ぶことができるのです。第30回全国会員総会で選出された運営委員、そして地域YWCAの会員の皆さんと共に、YWCAならではの実を結んでいきたいと思ひます。

昨年11月に第30回「日本YWCA全国会員総会」が開催されました。直前の臨時全国総会で新会則が成立し、会の名称が「日本キリスト教女子青年会」から世界YWCAの方針に沿った「日本YWCA」となりました。

「総会」などの名称も変わりました。私たちの会員運動の本質はまったく変わっていないのですが、財団法人として歩んできた日本YWCAが依拠する法律が新しくなり、それに対応して文言を整える必要が生じたためです。悪法には抗議すべきですが、そうでないなら、「国際NGO説明責任憲章」を批准している世界YWCAの一員として、法律遵守は重要な責務です。2013年11月末までに新法人への移行申請をしなくてはなりません。知恵を集め、最も良い道を選択したいものです。

さて、この総会のハイライトは、お招きした3人の韓国YWCA代表の方々の前で「アジア・太平洋戦争の謝罪と未来に向けての決意表明文」を採択したことです。日本YWCAは戦争直後に、侵略戦争を阻止できず、しかも戦争協力を全備なくされたことを反省し、二度と戦争を起こさないために平和憲法を守ろうと決意し、一貫して平和の実現のために活動してきましたが、今回やっと、会として正式にアジア・太平洋地域の人々に謝罪したのです。思えば「韓国併合」100周年の前年の全国会員総会でこの決意表明文を決議したことの意味は重大です。日本が力づくで韓国の独立を奪い、従属を強い、人権を蹂躪した植民地支配への償いを私たちはまだ果たしていないからです。私たちはこの事実をしっかり見つけ、日本政府に国家補償の実現を働きかけていかなければなりません。

それにも関わらず、韓国YWCAのカン・キョッチャ会長(急遽欠席のため、副会長が代読)は、応答メッセージの中で、私たちが歴史の事実を知ろうとした勇気を認め、戦後の非核運

動や在韓被爆者支援、日本の歴史教科書歪曲への抗議などを評価し、平和教育や軍事大国化への抵抗などで協働することを約束して下さいました。感謝です。東アジアの和解と平和への道筋に光がさしてきたのです。

もう一つこの総会の画期的なことは、若い世代のリーダーシップが

花開いたことです。選出された新会長は40歳代、副会長のお一人は30歳代と若返りましたし、新運営委員には20代初めの大学生も選出されました。同時にまた、戦中・戦後の大変な時代を生き抜き、今日のYWCAを築きあげてきた先輩委員の方々に感謝状を贈り、後に続く者たちへの励ましの言葉をいただいたことも感謝でした。

YWCAの魅力は人にあるとよく言われますが、多様な世代の会員が世代を超えて心をつなげて働けることこそ、YWCAの活動の真価が發揮できるのだと思ひます。これからも、そのような会員運動の実現をめざして、希望をもって歩んでいきましょう。

(2・3面に第30回全国会員総会報告掲載)



左から石井会長、シンヒューン韓国YWCA副会長(一人おいてハンミミ常任委員チエヒョン青年リーダー)

組織の活性化に 必要なこと

西 文子

YWCAの組織が現在抱える課題は大きく言って三つ、会員の減少・高齢化と活動会員の減少、そして財政難である。こうした状況はどうしたら打開していただけるだろうか。

昨年の地域YWCAへのアンケートや全国会員総会などでの協議から透かし見えるのは、私たちは一生懸命活動しているが、外部からは理解されていないように思えないということだ。もし活動が本場に地域のニーズに見合ったものであるなら、必ず理解や協力は得られるだろう。自発性に基いた活動を行えるのがYWCAの核にある魅力だが、その活動は常に他者のニーズに見合っていないければ共感も広げられないし、広報やファンディングもにくい。ニーズに見合った活動やプログラムの例を全国の会員間で共有し、会員自身がエンパワーされるような研修や交流の機会、また支援の仕組みが必要だ。

もう一つ全国で共通する悩みは、登録ボランティアやリーダー、プログラム参加者がなかなか会員にはならないという点だ。YWCAが今の世の中にあって理解されにくいのは、活動や組織運営を担うのが、会費を払って会員になったボランティアであるということもあるだろう。お金のいる人は活動する時間がないことが多いし、時間的に自由に動ける人には、お金の支出がシビアな人が多いと思う。お金を払って会員になるには、何らかの強力な魅力・特典が感じられなければならない。ステップアップできるような研修制度や国際的な研修の場への派遣といったことがそうした特典として考えられる。また、世代が近い間でのメンター制度があれば、つながりを持続していくことができるかもしれない。

新しく始まった30総会期には、組織の活性化に全国のYWCAが協力し合って取り組んでいく必要があることを覚えたい。

(第29総会期常任委員)